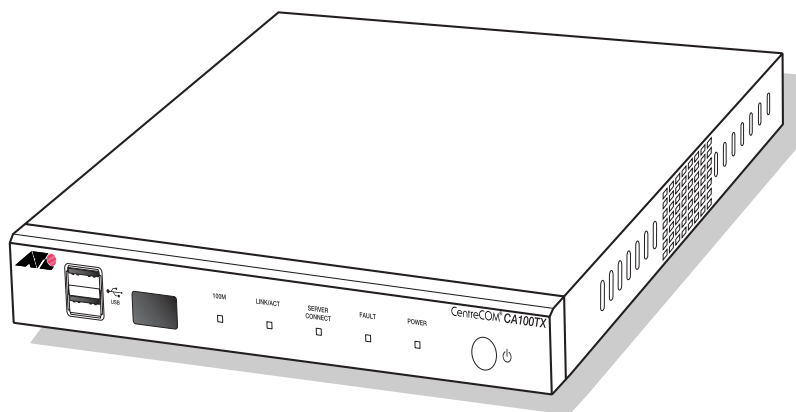


IPセット・トップ・ボックス
CentreCOM® **CA100TX**
ユーザーマニュアル



- 本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 本書は製品とともに保管してください。

安全のために



必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により、**死亡や大けが**の原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。
火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときは
さわらない

異物はいれない 水は禁物

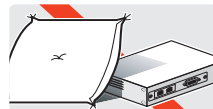
火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。(サービス提供者までご連絡ください。)



異物厳禁

通風口はふさがない

内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがない

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気のあたる場所には置かない

内部回路のショートの原因になり、火災や感電の恐れがあります。



設置場所
注意

表示以外の電圧では使用しない

本製品に付属の AC アダプターは 100V で動作します。



電圧注意

付属の AC アダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。
必ず、付属の AC アダプターを使用してください。



付属品を
使え

光源をのぞきこまない

目に傷害を被る場合があります。
赤外線発光部をのぞきこまないでください。



のぞかない

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

設置・移動のときは電源プラグを抜く

感電の原因となります。



プラグを
抜け

AC アダプターのコードを傷つけない

火災や感電の原因となります。



傷つけない

ご使用にあたってのお願い

次のような場所での使用や保管はしないでください。

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所（湿度 80% 以下の環境でご使用ください）
- ・振動の激しい場所
- ・ほこりの多い場所や、シュータンを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- ・腐食性ガスの発生する場所



静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクタの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



取り扱いはていねいに

落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で

誤動作の原因になります。



機器は、乾いた柔らかい布で拭く

汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。



ぬらすな



中性洗剤
使用



強く絞る

お手入れには次のものは使わないでください

・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん
（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。）



シンナー
類不可

ご注意

本書の中に含まれる情報は、弊社（アライドテレシス株式会社）の所有するものであり、弊社の同意なしに、全体または一部をコピーまたは転載しないでください。弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。また、改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

Copyright © 2003 アライドテレシス株式会社

商標について

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

マニュアルバージョン

2003 年 12 月 Rev.A 初版

本書の読みかた

このたびは、CentreCOM CA100TX をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

表記規則

本書の表記規則を以下に示します。

アイコン

アイコン		意味
 ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

製品名の表記

単に「本製品」と表記している場合は、CentreCOM CA100TX を意味します。
場合によっては、CA100TX のように製品の略称で記載します。

1 箱の中身を確認する

梱包箱の中になにが入っているかについて、説明します。
最初に中身がそろっているかを確認してください。

2 CA100TXではこんなことができます

本製品で、どのようなことができるのかを簡単に説明します。

3 各部の名称と働き

本製品の各部の名前とその働きについて、注意を含めて簡単に説明します。
お使いになる前に、そして本書をお読みの際にも、必要に応じてお読みください。

4 設置を開始する前に

接続するために必要なケーブルの準備、そして設置する場所について説明します。
設置を開始する前に、お読みください。

5 設置する

本製品を使うための、ケーブルの接続や乾電池の入れ方について説明します。
設置、ケーブルを接続するときにお読みください。

6 番組を見る

電源の入れ方、切り方、番組を実際に見るためのリモコンの使い方について説明します。
操作方法などについて知りたいときにお読みください。

7 故障かな?と思ったら

動作がおかしいと思われた場合の対処方法について説明します。
困ったとき、修理を依頼される前にお読みください。

A 付録

本製品の主な仕様などについて説明します。

8ページ

9ページ

3.1 CA100TX本体
3.2 リモコン

10ページ

4.1 接続ケーブルを用意する
4.2 設置場所を確認する

14ページ

5.1 テレビと接続する
5.2 ネットワークケーブルを接続する
5.3 ACアダプターを接続する
5.4 リモコンに乾電池を入れる

16ページ

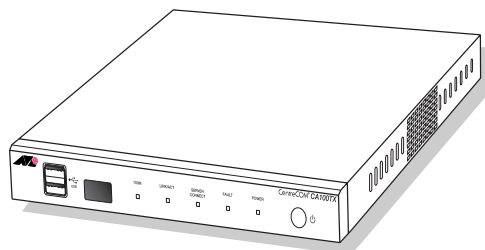
6.1 電源を入れる
6.2 モードを選ぶ
6.3 VODモードで使う
6.4 TVモードで使う
6.5 OSDを使う

20ページ

27ページ

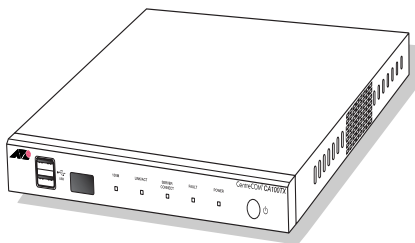
A.1 仕様
A.2 問い合わせ先

30ページ

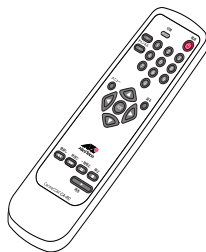


1 箱の中身を確認める

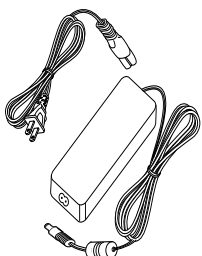
最初に梱包箱の中身を確認してください。



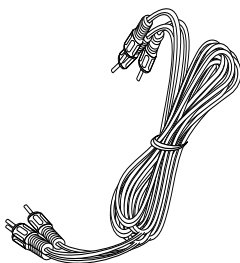
□ CA100TX 本体 1台



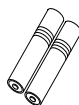
□ 専用リモコン 1台



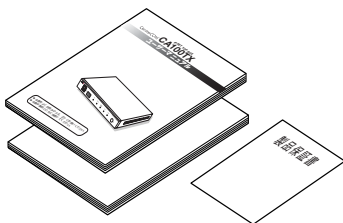
□ ACアダプター 1セット



□ 映像音声用ケーブル
(RCAケーブル) 1組



□ 単四乾電池 2本



□ ユーザーマニュアル(本書) 1冊
□ CentreCOM CA100TX で
使用しているソフトウェアについて 1冊
□ 製品保証書 1枚



□ シリアル番号シール 2枚

本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。再梱包のために、本製品が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管してください。

2 CA100TX ではこんなことができます

本製品は、ブロードバンドネットワークを利用した映像配信サービスを受けるための受信再生機器です。

本製品を映像音声入力端子付きのテレビなどと接続することにより、あらかじめ用意された映像配信用サーバーと接続して、高品質な映像配信サービスを受けることができます。

●高品質な映像を視聴できます

ネットワーク上で利用することを考えて開発された圧縮技術を利用して配信を受けることができるため、ADSL などの低コストな回線でも、高品質な映像を視聴することができます。

●リモコンで操作できます

赤外線リモコンを利用して、DVD プレイヤーなどのように手で操作できます。

●2つのモードによる再生ができます

好きな番組を選んで最初から見るビデオ型の VOD モードと、放送されている番組をチャンネルを選んで見る放送型の TV モードを利用することができます。

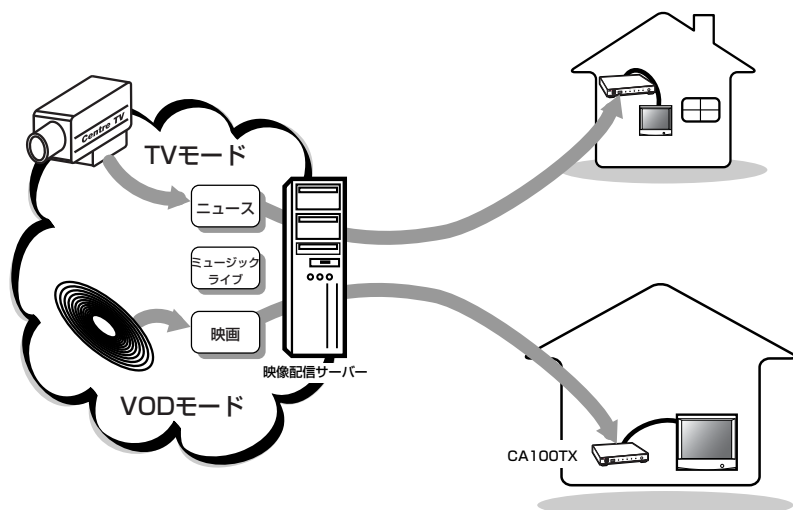


注意

それぞれのモードで提供される番組については、サービス提供者によって異なります。

●再生コントロールができます

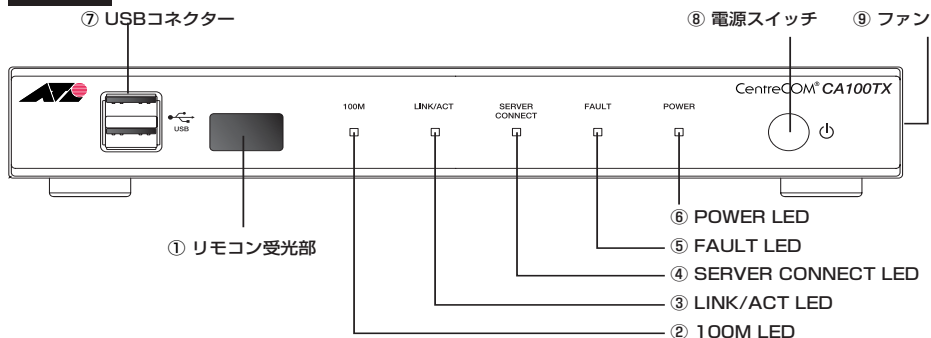
VOD モードでは、「早送り」「巻戻し」「一時停止」などの再生コントロールが可能です。



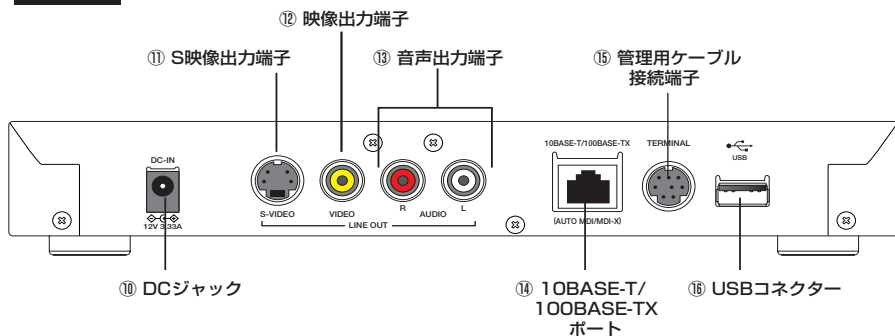
3 各部の名称と働き

3.1 CA100TX 本体

前面



背面



① リモコン受光部

リモコンからの赤外線を受信する部分です。

②③④⑤⑥ LED

100M	緑色点灯：100Mbps で接続しています（10Mbps で接続の場合は点灯しません）。
LINK/ACT	緑色点灯：本製品とネットワークケーブルで接続した機器とが通信可能です。 緑色点滅：データを送受信しています。
SERVER CONNECT	橙色点灯：本製品に対応した映像配信用サーバーと、データの送受信をしています。 橙色点滅：本製品内部のソフトウェアをアップグレードしています。
FAULT	赤色点灯もしくは点滅：本製品に異常が発生しています。 サービス提供者者にご連絡ください。
POWER	緑色点灯：電源が入っていて映像音声が出力されています。 橙色点灯：電源は入っていますが、映像音声は出力されていません。

⑦⑧ USB コネクター

USB 2.0 に準拠したコネクターです。

本製品が対応している機器以外ではご利用いただけません。対応製品については、弊社 Web ページにてお知らせします。

<http://www.allied-teleasis.co.jp/>



注意

付属のカバーは機器を接続するとき以外は、はずさないでください。

⑧電源スイッチ

本製品の電源をオン（動作）、オフ（停止）できます。

電源をオフにするときには、SERVER CONNECT LED が点滅していないのを確認した上で、3 秒ほどボタンを押し続け、POWER LED が消灯するのを確認してください。



注意

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。

⑨ファン

本製品が高温にならないよう、本体内温度に応じて回転します。



注意

通気穴をふさがないでください。

⑩ DC ジャック

本製品に電源を供給するための AC アダプターを接続します。

付属の AC アダプター以外は使わないでください。

⑪ S 映像出力端子

S 映像信号の出力端子です。

S 映像入力端子付きのテレビと接続できます。

接続用ケーブルは本製品には付属していません。S 映像を使われる場合は別途ご用意ください。

⑫ 映像出力端子

映像信号の出力端子です。

付属の映像音声信号用ケーブルの黄色のコネクターを使ってテレビと接続してください。

⑬ 音声出力端子

ステレオ音声出力端子です。

赤いコネクター (R) が右側音声、右側の白いコネクター (L) が左側音声の出力です。

付属の映像音声信号用ケーブルの赤白の色を合わせてテレビと接続してください。

⑭ 10BASE-T/100BASE-TX ポート (Auto-MDI/MDI-X)

ネットワークケーブルを接続します。

MDI/MDI-X は自動切り替えです。

ネットワークケーブルは本製品には付属していません。別途ご用意ください。



ヒント

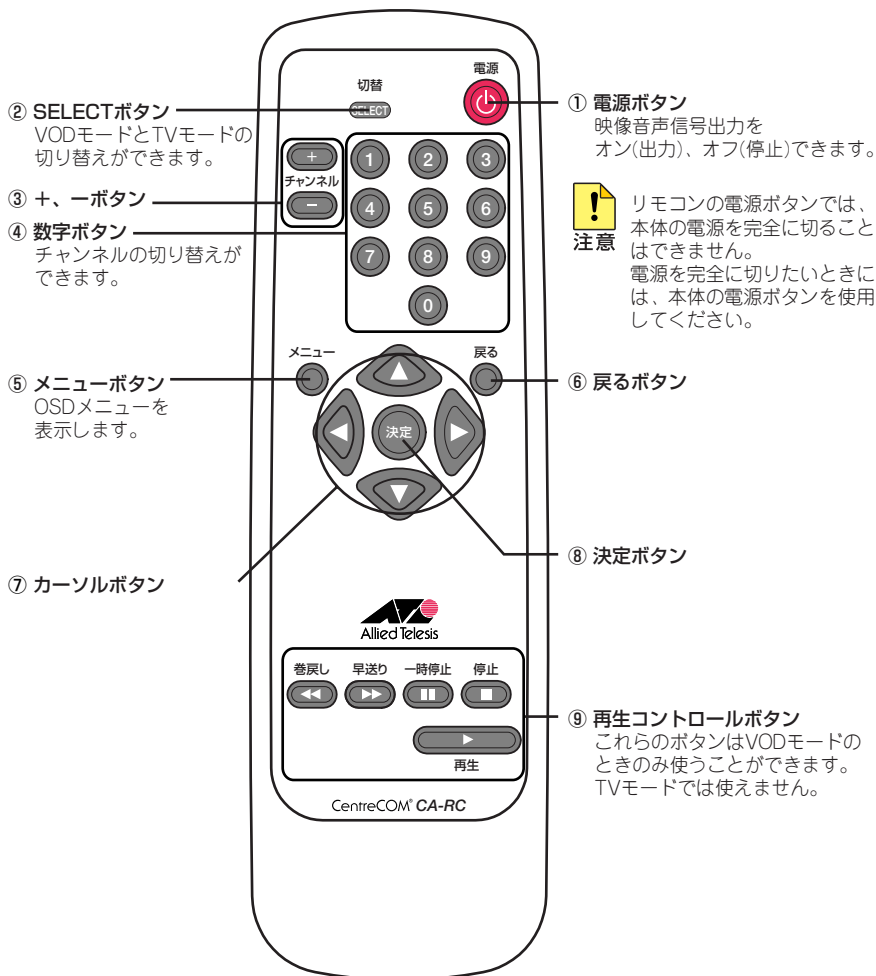
100BASE-TX で接続する場合はカテゴリ 5 以上の、10BASE-T で接続する場合はカテゴリ 3 以上の UTP ケーブルを使ってください。ストレート、クロスどちらのケーブルでも使うことができます。

⑮ 管理用ケーブル接続端子

本製品の管理に使うケーブルを接続する端子です。通常使用時にはさわらないでください。

3.2 リモコン

詳しい使いかたは VOD、TV 各モードの解説を参照してください。



リモコンの操作は画面が反応したのを確認してから、次の操作をするようにしてください。

注意

4 設置を開始する前に

4.1 接続ケーブルを用意する

CA100TX 本体をネットワークに接続するケーブルをご用意ください。



ヒント

本製品には接続ケーブルが同梱されていません。使用環境に合わせたものを、お客様にてご用意ください。

ネットワークケーブルは、10BASE-T ではカテゴリ 3 以上、100BASE-TX ではカテゴリ 5 以上の UTP ケーブルを使います。



ヒント

新たに購入される場合は、カテゴリ 5 以上の UTP ケーブルをお求めいただくことを推奨しています。

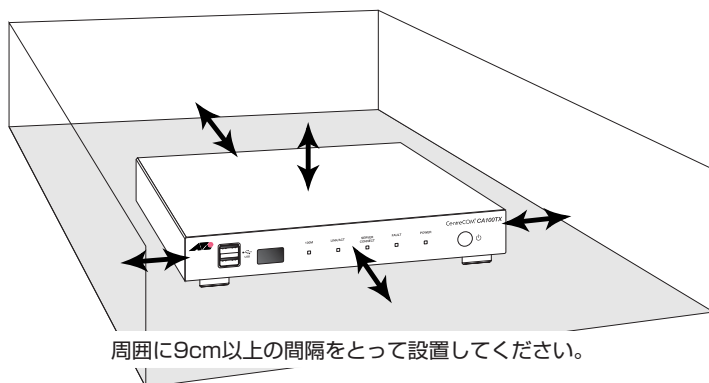
4.2 設置場所を確認する

CA100TX 本体を設置する場所を確認してください。

設置場所については、下記にご注意ください。

- 直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。
- 傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。
- 十分な換気ができるように、本体側面、および背面をふさがないように設置してください。
- ケーブルに無理な力が加わるような配置はさけてください。
- 本体の上に物を置かないでください。
- 本製品は屋外ではご利用になれません。

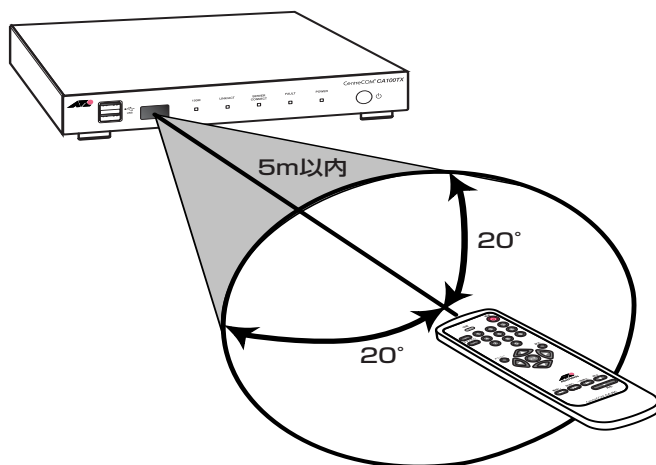
なお、CA100TX 本体の表面は放熱のため、動作時に温度が高くなります。図のように、周囲に9cm 以上の間隔をとってゴム足のついている面を下にして設置してください。



周囲に9cm以上の間隔をとって設置してください。

リモコンが使用可能な範囲は図のようになっています。

操作する場所と CA100TX 本体の間に遮蔽物がないように設置場所を決めてください。



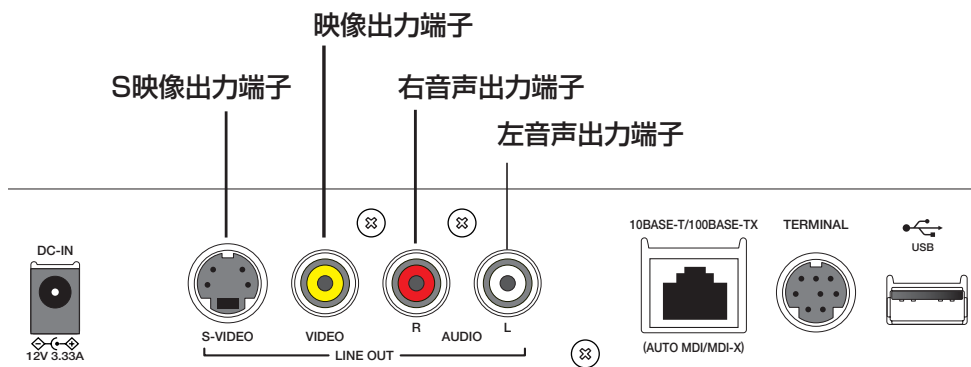
5 設置する

本製品の設置や保守を始める前に、必ず表紙裏の「安全のために」をよくお読みください。

5.1 テレビと接続する

映像音声用ケーブルを使って、テレビと接続します。

黄（映像）、赤（右音声）、白（左音声）をそれぞれ、端子とケーブルの色を合わせて接続してください。



映像出力として、S 端子を使うこともできます。ただし本製品には、S 映像用ケーブルは付属していません。別途ご用意ください。

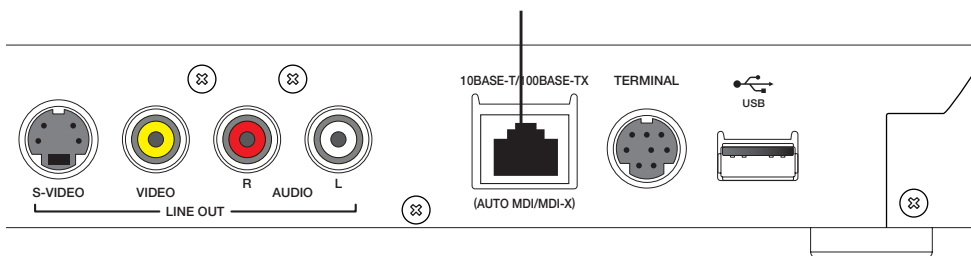
ヒント

5.2 ネットワークケーブルを接続する

本製品を、ルーターなどのネットワーク接続する機器とネットワークケーブルで接続します。

10BASE-T/100BASE-TX ポートにネットワークケーブルのプラグをカチッと音がするまで差し込み、ネットワークケーブルを軽く引っ張ってみて、抜けないことを確認してください。同様に、ネットワークケーブルのもう一方のプラグをネットワーク側接続機器に接続します。

ネットワークケーブル接続コネクター



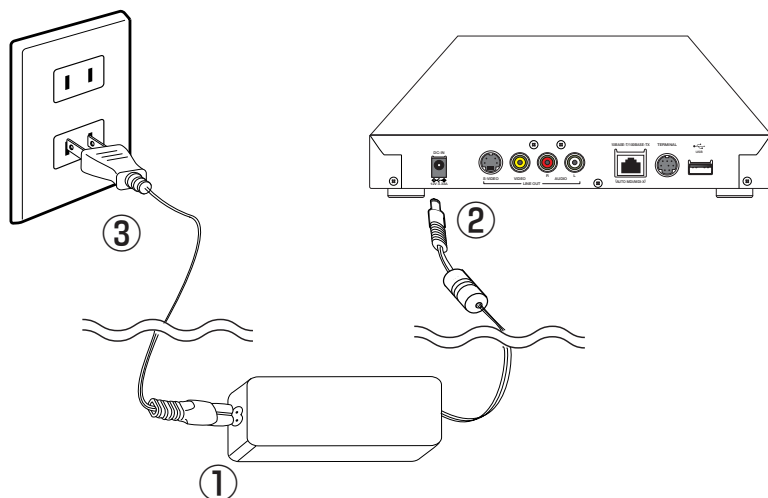
ヒント

ネットワークケーブルは本製品には付属していません。別途で用意ください。
100BASE-TX で接続する場合はカテゴリー 5 以上の、10BASE-T で接続する場合はカテゴリー 3 以上の UTP ケーブルを使ってください。ストレート、クロスどちらのケーブルでも使うことができます。

5.3 AC アダプターを接続する

AC アダプターは2つの部分に分かれているので、まず AC アダプターを組み立てます。

- ① AC アダプターのコンセント側のケーブルを AC アダプターの本体に差し込みます。
- ②次に、AC アダプターの DC プラグを本製品背面の DC ジャックに差し込みます。
- ③最後に、AC プラグを電源コンセントに差し込んでください。



注意

電源アダプターの AC プラグ側を電源コンセントに差し込んだまま、本体側の DC プラグを抜かないでください。感電事故を引き起こすおそれがあります。



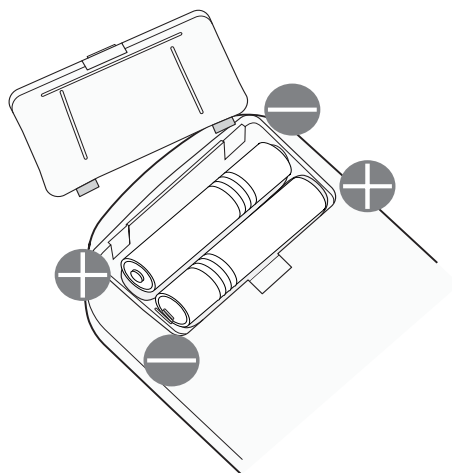
注意

本製品は AC100V 用ですので、指定された電源電圧以外で使わないでください。不適切な電源ケーブルや電源コンセントを使うと発熱による発火や感電のおそれがあります。また、電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

5.4 リモコンに乾電池を入れる

リモコンの裏側のふたをあけます。

リモコン内部の表示を確認し、付属の乾電池をプラスマイナスを間違えないように入れ、フタを閉めます。



注意

乾電池のご使用にあたって

- ・ 乾電池を交換するときには、同じ種類、銘柄の電池を使うようにしてください。
- ・ 新しい乾電池を、古い乾電池と混ぜて使わないようにしてください。
- ・ 本製品を長期間使わない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ・ 使用済の乾電池は、自治体の指定にしたがって、正しく処分してください。

乾電池の使用方法を誤ると、破裂したり、液漏れなどが発生して、やけどやケガの原因となります。

- ・ ショート、分解、過熱、充電、火に入れるなどはしないでください。
- ・ 乾電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。
- ・ 万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

6 番組を見る

6.1 電源を入れる

本製品を使うには、まず本体の電源スイッチで電源を入れます。

電源を入れるとまずオープニング画面が表示され、約 1 分ほどで通信可能な状態になります。



注意

すべてのケーブルを接続してから電源を入れてください。

本製品の電源の状態は、3 通りあります。

●電源オン

映像音声の信号が出力されています。

本製品前面の POWER LED は緑色に点灯します。

●スタンバイ

映像音声の信号のテレビ出力が停止します。

ただし、本製品の機能が完全に停止しているわけではありません。

本製品前面の POWER LED は橙色に点灯します。

リモコンの電源ボタンで、電源オンとスタンバイ状態の切り替えができます。

●電源オフ

本製品の機能は完全に停止しています。

本製品前面の POWER LED は消灯します。

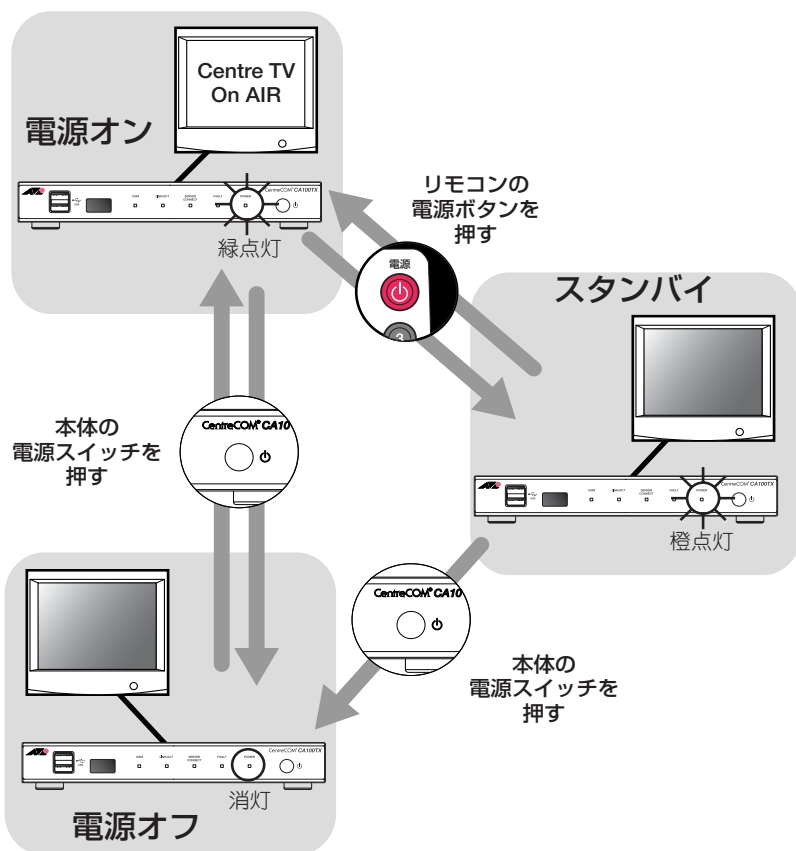
本体の電源ボタンで、電源オフにすることができます。

この状態から、リモコンにより電源を入れることはできません。本体の電源スイッチにより、電源を入れてください。ただし、スタンバイ状態よりも使用可能な状態になるまでに時間がかかります。



注意

電源をオフにしてから再度オンにする場合は、しばらく間をあけてください。電源を切るときには、SERVER CONNECT LED が点灯していないのを確認してください。



6.2 モードを選ぶ

本製品には、好きな番組を選んで最初から見るビデオ視聴型の VOD モードと、放送されている番組をチャンネルを選んで見る放送視聴型の TV モードがあります。

本体の電源を入れた後は、必ず VOD モードになります。

VOD モードと TV モードは、リモコンの SELECT ボタンで切り替えることができます。



注意

リモコンの操作は画面が反応したのを確認してから、次の操作をするようにしてください。

6.3 VOD モードで使う

VOD（ビデオ・オン・デマンド）モードは、サーバーに保存されている VOD 番組を選んで、再生するモードです。

サーバー上にビデオテープや DVD ビデオが置いてあり、好きなものを選んで再生するという感覚で使うことができます。

VOD 番組は、最初から再生が開始され、早送り、巻戻し、一時停止などの再生コントロールができます。

●モードの変更

本製品が TV モードになっているときは、SELECT ボタンを押すことによって、VOD モードにすることができます。



注意

VOD モードで番組を見ている途中で SELECT ボタンを押すと、VOD モードで見ていた番組は終了します。再び SELECT ボタンを押して VOD モードに戻しても番組を続きから見ることはできません。

●番組の選択

VOD 番組の選択は、番組選択画面上で、見たい番組を 4 つのカーソルボタンで選んで、決定ボタンを押してください。選んだ番組がサーバーから本製品に送信され、再生が始まります。

●再生コントロールボタンの機能

再生中には、早送り、巻戻し、一時停止などの再生コントロールを、対応したリモコンのボタンにより行うことができます。

巻戻し	ボタンを押すと巻戻しが始まります。さらにボタンを押すと巻戻しの速度が速くなります。巻戻しをやめて再生を再開するには、再生ボタンを押してください。
早送り	ボタンを押すと早送りが始まります。さらにボタンを押すと早送りの速度が速くなります。早送りをやめて再生を再開するには、再生ボタンを押してください。
一時停止	ボタンを押すと再生が一時停止します。再生を再開するには、再生ボタンを押してください。
停止	番組の再生が完全に終了し、番組選択画面に戻ります。再度、再生ボタンを押しても停止した場面からの再生はできません。
再生	巻戻し、早送り、一時停止を中止し、再生を再開します。

切替ボタン

VODモードとTVモードを切り替えることができます。

電源ボタン

本体の「電源オン」と「スタンバイ」の状態を切り替えることができます。

メニューボタン

OSDを表示することができます。

カーソルボタン

番組選択画面で、項目を選ぶことができます。

決定ボタン

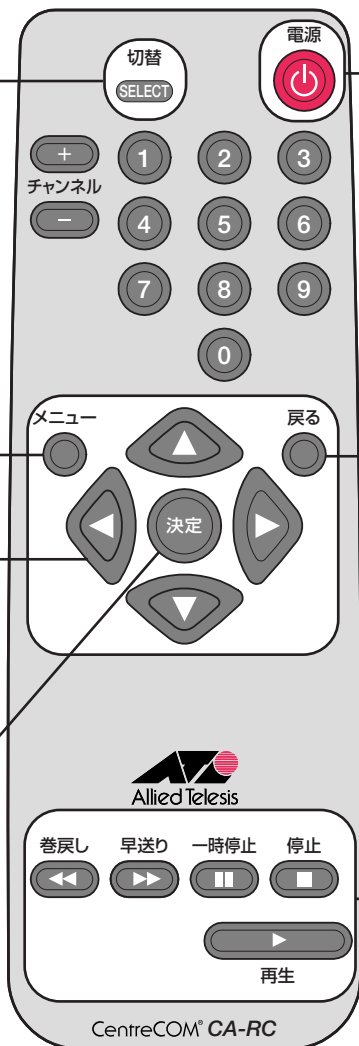
カーソルボタンで選択した番組を決定し、再生をはじめます。

戻るボタン

番組選択画面で直前に表示されていた画面に戻ることができます。

再生コントロールボタン

再生中の番組を、巻戻し、早送り、一時停止、停止、再生再開できます。



注意

VODモードからリモコンの電源ボタンでスタンバイ状態にした場合、見ていた番組は終了します。再度、電源オンにしても、番組を続きから見ることはできません。

6.4 TV モードで使う

TV モードは、サーバーから放送されている複数のチャンネルの中から 1 つを選んで見るモードです。

放送されている中からチャンネルを選んで視聴する、という感覚で使うことができます。

TV モードでは、サーバーから流される番組を受信して再生するだけなので、VOD モードと異なり、最初から再生させたり、早送り、巻戻しなどの再生コントロールはできません。

●モードの変更

本製品が VOD モードになっているときは、SELECT ボタンを押すことによって、TV モードにすることができます。



注意

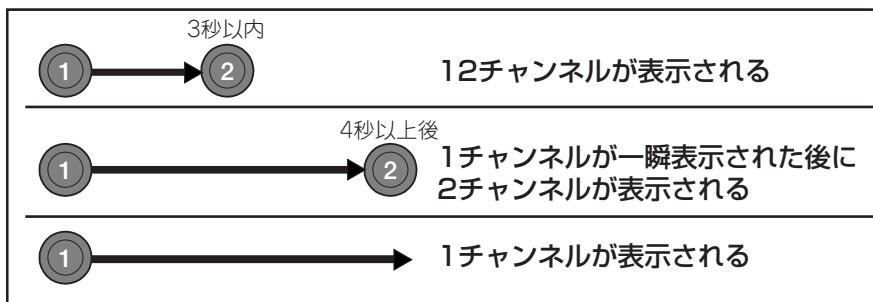
VOD モードで番組を見ている途中で SELECT ボタンを押すと、VOD モードで見ていた番組は終了します。再び SELECT ボタンを押して VOD モードに戻しても番組を続きから見ることはできません。

●チャンネルの変更

チャンネルの変更は、1 から 0 までの数字ボタンか、+、- ボタンで行います。

2 桁、3 桁のチャンネルを選ぶには、「数字」ボタンを 3 秒以内に連続して押して決定ボタンを押してください。

●例：12 チャンネルを見る場合



1 を押してから、4 秒以上何もしないと、1 チャンネルを選んだことになります。

チャンネル選択時には、テレビ画面の下部に、チャンネル情報が表示されます。

切替ボタン

VODモードとTVモードを切り替えることができます。

＋、－ボタン

チャンネルを順番に切り替えることができます。

メニューボタン

OSDを表示することができます。

カーソルボタン

上下カーソルで、チャンネルを順番に切り替えることができます。左右カーソルでは、選んだチャンネルを決定して、選択メニューを消すことができます。

切替

SELECT

電源

電源ボタン

本体の「電源オン」と「スタンバイ」の状態を切り替えることができます。

数字ボタン

チャンネルを番号を指定して、切り替えることができます。

戻るボタン

チャンネル選択画面で、直前に表示していたチャンネルに戻ることができます。

決定ボタン

選んだチャンネルを決定し、選択メニューを消すことができます。

メニュー

戻る

決定

Allied Telesis

巻戻し

早送り

一時停止

停止

再生

CentreCOM® CA-RC



注意

リモコンの操作は画面が反応したのを確認してから、次の操作をするようにしてください。

6.5 OSD を使う

本製品では、メニューボタンを押すと表示される OSD (On Screen Display) により、設定の確認、ボリュームの調整、画面比率の変更を行うことができます。

OSD は、VOD、TV、どちらのモードでも表示することができます。



注意

本製品は使用環境に合わせた設定でお届けされます。通常の使用時において、これらの設定を確認および変更する必要はありません。

OSD の表示を消すには戻るボタンを押してください。

OSD 内の操作は、カーソルボタン、戻るボタン、決定ボタンで行います。

● Network

ネットワークの設定を確認できます。

Default URL、DHCP、Static IP、PPPoE、Remote Access

● Statistics

ネットワークの動作状況を確認できます。

● Device info

本製品内部のソフトウェアのバージョンを確認できます。

● Volume

カーソルボタンで本製品の音声ボリュームの調整をすることができます。



ヒント

通常は本製品のボリュームを最大 (20) にしておき、テレビでボリューム調整を行うことをお勧めします。

● TV aspect ratio

テレビのアスペクト比を変更できます。

7 故障かな？と思ったら

本製品が正しく動作しない場合は、まず次のことを確認してください。

トラブル

電源が入らない、動作しない。

対応

- 付属の電源アダプターを正しく接続しているかを確認してください。
- ・ AC プラグがコンセントから抜けていませんか？
- ・ 電源アダプターの途中のコネクターが抜けていませんか？
- ・ DC プラグが本体から抜けていませんか？
- ・ 本製品付属の電源アダプターを使っていますか？
- ・ 電源アダプターは断線などをしていませんか？

トラブル

本体の電源スイッチを押しても電源が切れない。

対応

- 電源を切るには本体の電源スイッチを 3 秒ほど押し続けてください。

トラブル

映像、音声が出ない。

対応

- テレビの電源が入っているかを確認してください。
- 映像音声用ケーブルが正しく接続されているかを確認してください（P.16 参照）。
- 映像音声用ケーブルは、本体の電源を入れる前に接続しておいてください。
- テレビのボリュームをしばっていないかを確認してください。
- OSD により本製品のボリュームを確認してください（P.26 参照）。

トラブル

電源投入後いつまでたっても番組選択画面が表示されない。

対応

- LINK LED が点灯しているかを確認してください。

LINK LED が点灯しない場合は、さらに以下のことを確認してください。

- ・ ルーター、スイッチなどを介して接続している場合は、接続先機器に電源が入っているか確認してください。
 - ・ UTP ケーブルの長さが制限を超えていないか確認してください。2 つのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは最長 100m と規定されています。
 - ・ UTP ケーブルが断線していないかを確認してください。
 - ・ 接続先機器の特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
 - ・ リンクの確立に一定時間以上かかったり、リンクが確立しないという場合には、本体の電源を入れなおしてシステムをリセットするようにしてください。
-
- LINK LED が点灯しているのに、番組選択画面が表示されない場合は、ネットワークケーブルを接続している機器が正常に動作しているかを確認してください。

トラブル

100Mbps で接続しているはずなのに、100M LED が点灯しない。

対応

- UTP ケーブルのカテゴリーを確認してください。

100BASE-TX で接続する場合はカテゴリー 5 以上の、10BASE-T で接続する場合はカテゴリー 3 以上の UTP ケーブルを使ってください。

トラブル

リモコン操作に反応しない。

対応

- リモコンの電池が消耗していないかを確認してください。
- リモコンの受光可能範囲内で操作しているかを確認してください
(P.15 参照)。
- ボタン操作に画面が反応したのを確認してから、次の操作をするようにしてください。
- リモコンの電源ボタンは、本体の電源が入っていない場合には、表示を開始することができません。まず、本体の電源を入れてください。

トラブル

画面表示が大きくなったり小さくなったりして安定しないことがある。

対応

- テレビ側のワイド映像自動判別を無効にしてください。

表示される映像によっては、接続しているテレビでワイド映像の自動判別機能が有効になっている場合、このような現象が起こることがあります。

トラブル

サーバーと接続しているはずなのに、SERVER CONNECT LED が点灯しない。

対応

- SERVER CONNECT LED が点灯するのは、サーバーと通信をしているときだけです。

テレビ上に画面が表示されていても、通信していないときにはSERVER CONNECT LED は点灯しません。

トラブル

FAULT LED が点灯、点滅している。

対応

- 本製品に異常が発生しています。サービス提供者に連絡をしてください。

A.1 仕様

本製品の主な仕様は以下のとおりです。

準拠規格	
	IEEE 802.3 10BASE-T IEEE 802.3u 100BASE-TX
映像フォーマット	
	NTSC (アスペクト比 4:3)
圧縮方式	
	On2 VP5(映像)、MPEG 1 Layer 3(音声)
インターフェース	
ネットワークポート	10BASE-T/100BASE-TX x 1 (MDI/MDI-X 自動切替)
USB コネクター	USB 2.0 x 3 (前面2、背面1)
RS-232C (管理用)	ミニ DIN 8 ピン x 1
S 映像出力	定格出力: 1Vp-p, 75Ω x 1
コンボジット映像出力	定格出力: 1Vp-p, 75Ω x 1
音声出力	定格出力: 1Vrms x 2(R,L)
赤外線	リモコン用 x 1
電源部	
定格入力電圧	AC100 -120V(専用 AC アダプター使用、本体供給電圧 DC12V)
入力電圧範囲	AC90 -132V
定格周波数	50/60Hz
最大入力電流 (実測値)	0.67A
定格入力電流	1.2A
平均消費電力	17W (最大36W)
平均発熱量	61kJ/h (最大 130kJ/h)
環境条件	
動作時温度	5 ~ 35 ℃
動作時湿度	80% 以下 (ただし、結露なきこと)
保管時温度	-10 ~ 65 ℃
保管時湿度	95% 以下 (ただし、結露なきこと)
外形寸法 (突起部含まず)	
本体	220(W) x 183(D) x 30(H) mm
AC アダプター	127(W) x 51(D) x 28(H) mm ケーブル長 (DC 側: 1.5m、AC 側: 1.83m)
赤外線リモコン	58(W) x 185(D) x 25(H) mm

質量	
本体	1.1kg
AC アダプター	280g
AC 電源ケーブル	100g
赤外線リモコン	80g（乾電池含まず）
適合規格	
EMI 規格	VCCI クラス B
安全規格	UL 60950-1
オプション（別売）	
RG-AC01	RG シリーズ用コンソールケーブル（ミニ DIN8 ピン（オス） <-> D-Sub9 ピン（メス）、2.0m）
CA-KB	CA シリーズ用キーボード

A.2 問い合わせ先

故障、通信上のトラブルが発生した場合には、サービス提供者もしくはご購入元までご連絡ください。

